

立憲野党の皆さん

いのちと人間の尊厳を守る政治の「選択肢」を

すみやかに示してください（要請署名）

【要請事項】

次の総選挙で新しい政治を実現するため、政策と選挙協力の具体化に合意し、市民と力を合わせてたたかってください。

【要請の趣旨】

「この道しかない」「全く問題ない」「適切に対応している」——本当にそうでしょうか？

このまま、「安倍・菅」自公政治にかわる「選択肢」のない状況がつついていいのでしょうか。

やせほそった日本の医療・公衆衛生体制は、収束の見えない新型コロナ・ウイルスに耐えきれるのか。そんな国民の不安に追い討ちをかけるように、「自助」「自己責任」を掲げ、GOTO キャンペーンに固執する失政によって、雇用や生活、生業の危機は日ごとに深刻になっています。これでは政府はいったい何のためにあるのでしょうか。

本来、政治の最大の使命は、一人ひとりのいのちと暮らしを守り、いかなる差別、選別、切り捨ても許さないことだったはず。この道しかない？ 「そんなはずはない」、私たちはそう考えます。

ごく一部の人が富や権力をほしいままに我が世の春を謳歌する、利権、特権意識丸出しの政治家が跋扈する、官僚は政治家に付度し続ける、多くの国民は蚊帳の外。こんな政治では、日本の未来は描けません。いま、政治を変える確かな「選択肢」を示すのは、心ある野党の責任です。

私たちは、立憲野党が来たる衆議院選挙に向けて力を合わせ、誰もが自分らしく安心して生きることができる新たな社会ビジョンを「選択肢」として示し、市民と協力して政権をめざすことを求めます。

氏 名	住 所

【取り扱い団体】

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

(

)